

# むさしの学園同窓会 会報 第46号

2015年（平成27年）4月

〒183-0002 府中市多磨町1-19-1 武蔵野学園内

Tel. 042-361-9655 Fax. 042-361-7288

むさしの学園 HP <http://musashino-gakuen.com/>

同窓会 HP <http://musashino-gakuen.com/dousou/>

## 同窓会主催『むさしの学園 創立90周年記念祝賀会』

大盛り上がりのなか開催されました!!

2014年10月25日（土）

昨年10月25日（土）、同窓会主催の「むさしの学園小学校 創立90周年記念祝賀会」が開催されました。

新しい校舎になって初めての「周年」を祝う祝賀会は晴天にも恵まれ、160名程の方々の笑い声があふれるとても楽しいものとなりました。

『新しい校舎を一目見てみたい!』ということで、他のご予定をキャンセルして来て下さった方もいらっしゃったそうです。

同窓会会長・山手亨さんの挨拶を皮切りに始まった祝賀会は、江幡清彦校長の祝辞、赤塚幹事の乾杯の後、卒業生のJAZZミュージシャン・本多俊之さんと奥様のピアノ、そしてやはり卒業生のJAZZフルーティスト・森田宮子（Miya）さんによるLIVE。後半では、卒業生で教員の影山郁絵さん（ピアノ）も参加。拍手と歓声につつまれた50分間でした。



江幡校長と山手同窓会長



盛り上がった音楽ライブ

その後は、料理と共に楽しい会話に花が咲き、あっという間に3時間半が過ぎていきました。  
1人で来ました、という方もいらっしゃったのですが、卒業年度の近い方でテーブルを設置したので、自然と会話が生まれていました。

「あなたの時代は、みそ汁あった？」  
「ストーブは石炭だった？灯油になってた？」  
「え？高原学校は那須なの？意外に若いんだ…」

など、むさしの学園ならではの会話で、思い出話が盛り上がったそうです。



祝賀会の賑わい



90年前、関東大震災の混乱の中、武蔵野村西窪（今の西久保）に産声をあげたむさしの学園は、大戦を経て、二度の移転も経て、今は府中・多磨の地で、しっかりと根をおろしています。

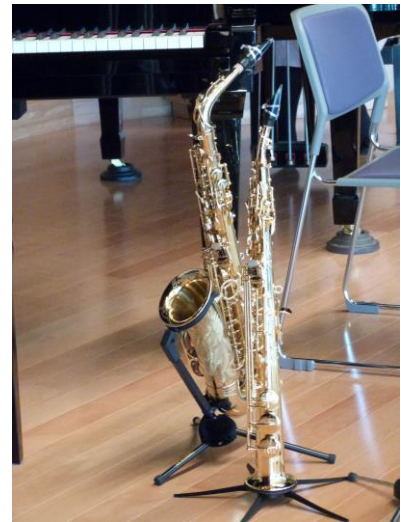
次の祝賀は、いよいよ100周年です。

9年後には、かつてない規模と企画で「むさしの学園の100周年」を祝いたいと思います。  
まだまだ先だと思われませんか？ いえいえ！そんなことはありません。

今からいくつかのイベントや同窓生をつなぐコミュニケーション企画を立ち上げ、皆さんの支援とともに一步一步気分を積み重ねていきたいと考えています。

例えば、「95周年大集会」など…。

また、皆さんと楽しい時間を持つことを確信し、同窓会は行動していきます。



快晴に恵まれた90周年の祝賀会当日の学園エントランス

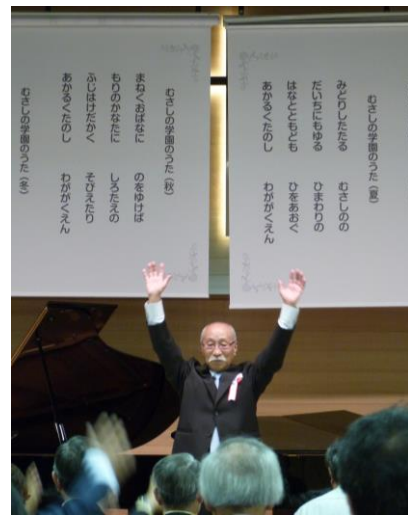


◎本多俊之さん（46回生）と奥さま

◎森田宮子【Miya】さん（70回生）と影山郁絵先生（72回生）



出現！赤塚 Bar



次回祝賀会を祈念して

## 90周年を終えて

むさしの学園同窓会会長 山手 亨（12回生）

星霜90年、これはもう歴史である。

長い道のりは必ずしも平坦ではなく、山あり谷ありであったが、これを乗り越えて今日があるのは嬉しく慶賀にたえない。

理想の教育環境と思い定めた西窪で大正13年（1924）4月発足したわが学園。

当初、僅か生徒6人、教師3人であったが、広く世に知られ評判の支援も受け、6年後には2組編成となる程、順調に伸びていった。然るに、大戦が勃発すると事態は急変、非常時下の私学経営に圧力が加わり、学園も継続は困難、閉校もやむなしと決断するに至り、第1ステージは終わった。

しかし、かなりの生徒と幾らかの教師が離散しても、なお学園の継続を望む教育熱心の親たちと教育に使命感を持つ教師の協力により、寺子屋式の授業が続けられた。学園の灯は消えず、守られたのだった。これが、第2ステージ。

わが国の復興も徐々に進み始めると、学園も再興の気運が起こり、武蔵境に木造校舎を建築し、本格的に教育を開始した。すると、散った生徒も戻り、折からのベビーブームの影響もあり、生徒も急速に増えていった。

ここから卒業した12回のうち、後半の6回は2組編成という具合であった。中学校併設も計画されたが、認可が得られず日の目を見なかったのもこの時期、第3ステージである。

開校以来40年となった。

予て用地を取得していたこの多磨町に、鉄筋コンクリートの本格建築を施し移転してきたのが昭和38年（1963）12月であった。第3ステージに続く最初の7年間は2組の卒業であったが、やがて1組の体制が長く続くことになる。学園を築かれた佐藤藤太郎校長から、昭和46年（1971）佐藤可南校長へ、更に平成14年（2002）江幡清彦校長へと引き継がれていった。

建築後50年近くにもなると、校舎の老朽化も進んだため建て替えが決まり、平成23年（2011）4月、IT時代に相応しい設備を整えた耐震構造の建築、白亜の新校舎が落成した。

ここに1学年2組の環境が整い、同年（平成23年）4月から再び2組編成（1学級20名）となった。

ところで、90周年は一通過点に過ぎない。世はまさに少子化、高齢化社会、グローバル化の時代であり、難しい前途が待ち構えている。学校経営にも才覚が求められている時代であるが、幸い2組編成の教師陣も揃っており、設備も整っているので、学園の体制は磐石である。

建学の精神と伝統を守り、適切な対応を取れば、自ずと道は開けよう。

われわれ同窓3100名強は、親の意向と期待のままに、この学園で恩師の薫陶を受け、友と交わり巣立っていった。時代が異なり、所も変われば、人それぞれ記憶にある「わたしの学園」は違うが、母校を愛する思いは一つ、皆同じである。

昨年10月25日、90周年記念の祝賀会、呼び掛けに応じて出席くださったのは160名余り、同窓の音楽家の奏でる音楽を楽しみながら往時を回顧しての談笑と会食は賑やかなものとなった。

予期せぬ邂逅、嬉しい出会いも…、喜ばしいことであった。今回は音楽を組み込んだお祭りの観があったが、ご感想はいかが？

出席の方々、寄付された方々、催しの立案・実施に携わった方々、ご協力くださった先生や職員の方々、すべての皆さんに厚く御礼申し上げます。

次は100周年ということになるが、10年は長過ぎる、サイクルを短縮した方が出席者が増えて良い、などの声も聞こえてくる。皆さん方のご意見も伺いたい。

毎年5月の最終日曜日に開催する「同窓会総会」であるが、出席者が少ないのは淋しい。終わった後で近隣のそば屋で会食するのが通例となっており、親睦の実を上げているので、是非この日も顔を見せていただきたいと願っている。

## 平成27年度同窓会総会

**日時：** 5月31日(日) 午後2時から1時間程度  
**会場：** むさしの学園小学校 集会室(1階)  
**議題：** 平成26年度決算、平成27年度予算  
90周年記念祝賀会・決算報告の件  
役員人事の件  
次期周年行事の件 ほか  
**会費：** 不要

- ※ 同窓会総会への参加は、同窓生であればどなたでも歓迎です。
- ※ 総会終了後、野川公園前のそば屋「御狩野」(TEL 042-231-9367)で千円会費の懇親会を開きます。こちらにも是非ご参加ください。

### 事務局からのお願い

- ◎ 同窓会員の住所変更や動静、クラス会等の集まりをお知らせください。
- ◎ 同窓会費の納入をお願いいたします。

終身会費は、1万円です。

同封しました郵便局の「払込取扱票」に金額の記入がないのは未納の方、記入があるのは残金のある方です。

郵便振替口座：00150-0-119359 加入者氏名：武蔵野学園同窓会

- ・通信欄に卒業年度と回数・組を記入し、氏名にフリガナを付け、数字はハッキリと。
- ・近況もご記入ください。

◎事務局への連絡方法： クラス会報告、ご感想やご意見、ご提案 等をお待ちしております。

- ご連絡は、下記まで郵送か FAX もしくは E-mail をお願いします。

送付先： 〒183-0002 東京都府中市多磨町1-19-1

武蔵野学園内 むさしの学園同窓会 FAX：042-361-7288

または 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-25-8

高橋 治 TEL&FAX：03-3336-3206 E-mail：t.osa@jcom.home.ne.jp

## 学園の近況

むさしの学園小学校校長 江幡 清彦

- 1、3月14日、第91回卒業式。 银杏組30名の子ども達を同窓会へ送り出しました。  
宜しく申し上げます。そして4月10日、1年生39名を迎え2015年度を歩み始めました。
- 2、15年度の6年生はリーマンショックの影響で手続き後に失職や地方転勤等で…毎年1名は覚悟していますが…10名も辞退され30名です。5年生も影響が続き30名と少数です。
- 3、好況とは言えない今、1～4年生は39名・38名・38名・39名と、希望人数に近い子ども達と学園生活を送ることができています。 本当に感謝しています。
- 4、ただ、3.11の大震災以来、北海道から九州までの私立共学小学校で、女子の入学者が少ないという傾向があります。学園も1～4年生は「女子募集中」です。

### 《学童保育職員 急募》

昨年4月開設の「学童保育ひかり学園…14時から19時迄」の利用者が想定以上に多いので、困っています。特に児童が多い14時から16時30分の時間帯に手伝って頂けたならば幸いです。仕事内容は、見守り。遊びや勉強の相手をして頂ければなお嬉しいのです。後輩の為に時間を割いて下さる方は、青木教諭までご連絡下さい。 どうぞ宜しくお願い致します。

### 《主な行事》

- 5、2年生から参加の臨海学校は、鶴原の財団法人豊島修練会の「至楽荘」で行なわれました。  
2年目ですので、教師が海岸に馴染むことを優先しており、遠泳は実施していません。
- 6、(高原学校と称していた)「修学旅行」も2年目の菅平で、見学と体験の学習を行ないました。  
学校では学べない分野を補う高原の生活を楽しましました。
- 7、4・5年生が対象の冬の学校「スキー教室」は3回目。これも菅平高原で行なっています。  
安全の確保と技術の向上に最適と考え、現地のスキー教室の力を借りています。
- 8、学園らしい、大切な行事の運動会は公開、クリスマス礼拝は非公開です。
- 9、全校保護者会「けやき会」主催の講演会は、「徹子の部屋」等に出演されたのでご存知かもしれませんが、「生まれつき手足のない佐野有美さん講演会」。 学びの多い会でした。

### 《伝 統》

江幡学級だけの調べ(他学級でも似たようなものだと思うの)ですが、35歳以上保護者の14.8%が、教師・医師など「師」と称される職業に就いています。そして、その3分の2以上は、親の職業とは関係ないのです。このことは学園の教育特色である「進んで物事に取り組む姿勢を大切に」している表れだと考えます。

嫌いだと思うだけで胃は食べ物を受け付けません。嘔吐するか胃腸を通過するだけです。

頭も全く同じです。「進んで取り組む姿勢」が頭に栄養を届けます。ですから、成績を良くするコツは、先ず、好きな学科の力を伸ばして裾野を広げることです。そうすれば、自然とヤル気が出てきます。

「教える」気持ち強い教師は、ヤル気よりもノルマ達成を重視し勝ちです。換言すれば、教育の「教」よりも「育」を重視する教師は、子どものヤル気を育てているのです。創立の当初から「育む」ことを大切にしているむさしの学園の伝統は、今も生きています。

### 平成27年度 学園の主な行事

4月10日	入学式
5月11日～15日	修学旅行（6年生）
8月8日～12日	臨海学校（2～6年生）
9月26日	運動会
10月17日	ひかり祭 = 「けやき会（保護者会）」主催バザー
11月10日～13日	入学考査
12月 7日	入学考査（二次募集）
12月18日	クリスマス礼拝
12月20日～22日	冬の学校スキー教室（4・5年生）
3月1日～15日	卒業作品展示
3月15日	卒業式

### 教職員紹介

☆は卒業生

#### 【教員】

江幡 清彦	☆栗村 江利	☆内藤 朝子	須藤 信晴	川瀬 晴美
☆森山 ゆかり	大内 美和子	中川 美和	☆内八重 めぐみ	☆瀬川 和香子
矢部 岳洋	河野 哲平	☆青木 洋介	☆大沢 大介	☆青木 夕紀
☆赤羽 俊紀	☆影山 郁絵	☆島田 咲彩	山本 龍樹	岡鼻 ミドリ

#### 【事務・用務】

入間田 徹夫	野毛 美知子	☆石川 圭子	☆小木曾 賢	☆山本 信
--------	--------	--------	--------	-------

#### 【幼稚園】

☆江幡 眞喜子	中西 沙貴乃	☆室井 勇紀	中村 美沙子	鈴木 雅子
---------	--------	--------	--------	-------

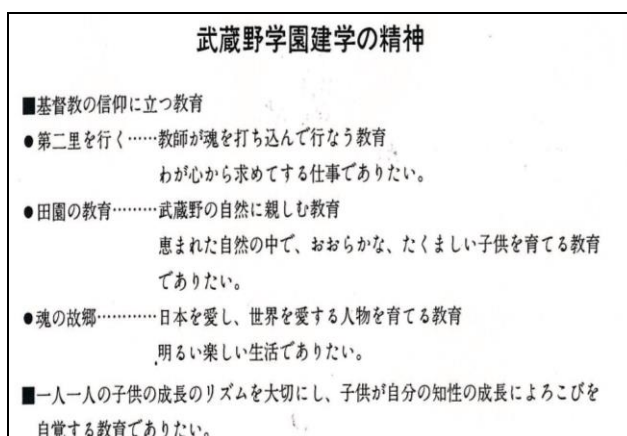
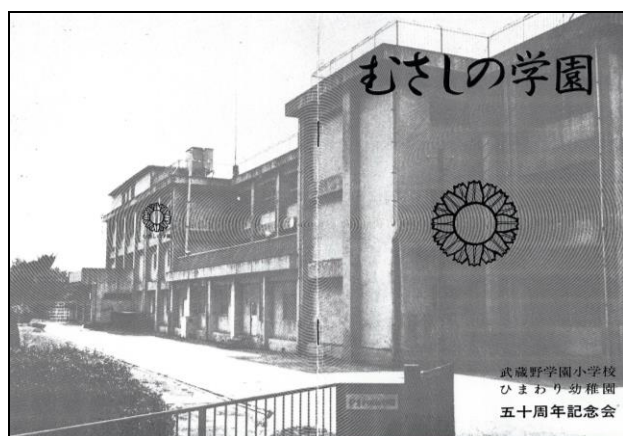
#### 【学校医】

☆野崎 道郎（内科）	☆樋口 洋一（歯科）	☆山田 加世子（薬剤師）
------------	------------	--------------



# むさしの学園 90年 こぼれ話 1

下の写真は、40年前に発刊された「むさしの学園 50周年記念誌」の表紙である。同誌のなかに、「武蔵野学園建学の精神」が掲載されていた。(下、右写真)



転記すると、

- 基督教の信仰に立つ教育
- 第二里に行く……教師が魂を打ち込んで行う教育  
わが心から求めてする仕事でありたい。
- 田園の教育……武蔵野の自然に親しむ教育  
恵まれた自然の中で、おおらかな、たくましい子供を育てる教育でありたい。
- 魂の故郷……日本を愛し、世界を愛する人物を育てる教育  
明るく楽しい生活でありたい。
- 一人一人の子供の成長のリズムを大切にし、子供が自分の知性の成長によるこびを自覚する教育でありたい。

校歌に歌われる『明るく 楽し 我が学園♪』は、“魂の故郷”が反映されていることがわかる。“田園の教育”も、学園に育成された我々には、馴染み親しんだ精神である。

「建学の精神」のなかで唯一わかりにくいのが、冒頭の『第二里に行く』ではないか？これは、佐藤藤太郎初代校長がよく使われていた言葉のようで、新約聖書「マタイによる福音書」にある『山上の垂訓：人 若し 汝に一里ゆくことを強いなば、共に二里行け』という聖句に基づいている。

そして佐藤藤太郎校長は先人の講義録を引用する形で、『第二里に行く人』は、ユダヤの人、イエス・キリストの言葉だが、日本民族にとっても最も適切な教訓を与えてくれるものであると、私は思った。」との解釈を披露している。

「田園の教育 226号 創立九十周年記念号」

江幡清彦校長編：佐藤藤太郎『第二里に行く人』より

## クラス会だより

- ◎ 21回生 クラス会 平成26年6月1日 村尾 永春（文） 升山 久志

戦前戦中の困難な時代、多感な小学生時代を共に学び共に過ごした懐かしの母校、武蔵野学園。この度、目出度く創立九十周年の記念行事を举行されますことは私ども卒業生としてこれに勝る喜びはなく心よりお祝い申し上げます。私たちが皆八十路を超え、自身の健康状態・家族のサポートなど、いろいろの問題を抱えてはおりますものの、クラス会は昭和24年相模湖を始め毎年楽しく回を重ねて55回になります。昭和31年には秋田から恩師東山東悦先生をお招きし、皆で再会を喜び合ったことでした。入学当初の担任は浅野とらゑ先生でした。阿佐ヶ谷のご自宅に皆でお邪魔してご馳走になり、暖かく歓迎していただいたことも忘れられない思い出です。

第55回クラス会の出席者は、次の10名。

石井 久之、今村 恵滋、吉川 清、村尾 永春、内田 滋子、斎藤昌子、藤廣 洋子、山里 恒子、宮島 篤子、升山 久志

会場は武蔵野の面影を残す井の頭公園近くの芙蓉亭、フランス料理に赤ワインなどを楽しみながら会話も弾み時のたつのも忘れる始末でした。健康に自信ある人は希で、多くの人が問題を抱えており、それだけに病気・病院の話題も盛んでした。お互いに経験や知識を教え合うなど気さくに話し合えることが何よりの宝物です。3時を過ぎてもまだ別れがたく、席を東急 Inn に移し、コーヒー・ジンジャーエールなど好みの飲み物で喉を潤し5時近くまで談笑は続きました。

今回、席上で九十周年の行事には全員出席しようとの申し合わせもいたしました。

皆たいそう楽しみにしております。 （原文のまま、一部省略）

- ◎ 22回生 第35回「じゃりみち会」 平成25年5月25日

参加者（9名）：

「銀座松屋8F京都つる家（京料理）」に於いて、ゆっくり3時間、先ず八十才を迎えた3名のご発声で杯を上げ、同年令でヒマラヤ登山大成功の三浦雄一郎氏の快挙にも祝杯をと進み、私たち小学校一年入学式の写真を出し、話は弾み、会話・料理・時間も進み、終宴へと。

- ◎ 22回生 第36回「じゃりみち会」 平成26年5月22日 合田 喬、三須 春子

参加者（10名）：

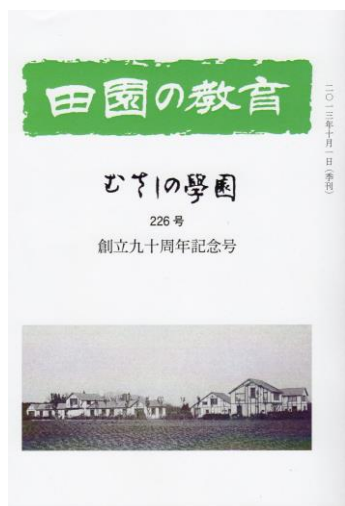
渋谷西口東急プラザ「いらか（関西料理）」に於いて12時から4時迄ゆっくりと、80歳の元気な老人（？）達が集い、自分達の身のまわりに起りつつある事を笑い声も混ぜながら、ながながとおしゃべりを致しました。私達は戦争が激しかった時に小学校生活を共に過ごした仲間ですが思い出話を続けているうちに、家族の様な仲間意識を感じてきた不思議な楽しい時間でした。

## むさしの学園90年 こぼれ話 2

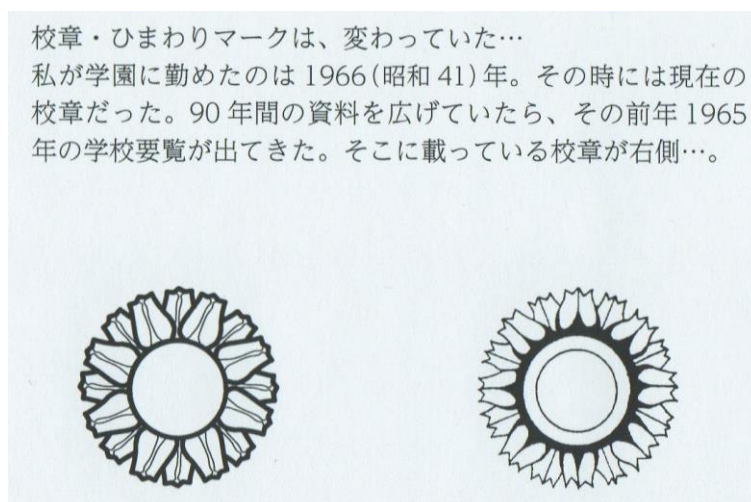
「田園の教育」創立九十周年記念号（図A）の表紙裏に、『校章・ひまわりマーク』に関する江幡清彦校長による興味深い文が掲載されていた。

◎ 校章・ひまわりマークは、変わっていた…

「私が学園に勤めたのは1966（昭和41）年。その時には現在の校章だった。90年間の資料を広げていたら、その前年1965年の学校要覧が出てきた。そこに載っている校章が右側…。」（図B）



A



B



C



D

◎図Cは、同窓会HP（次ページ参照）にも使用している校章をかたどったバッジだが、これは同窓会会報の編集人が学園在籍時（1963年＝昭和38年卒業）に使用していたもの。バッジの花びらは図Bの左側校章に類似しているうえに、おしべ・めしべも刻印されている。次に、図Dは編集人のクラスメイト宍戸美恵子さんが3年生当時（1959年）使用していた理科のノート。ここで使用されているのは、図Bの右側の旧校章である。

「1965年の学校要覧」と「図D」により、1965年までの校章が図Bの右側を使用していたことが確認できる。

となると、新校章は1966年度初頭に設定されたものであり、この時、旧校章を立体化させデザインされていたバッジのモチーフを逆に取り入れて図案化した、ということになる！

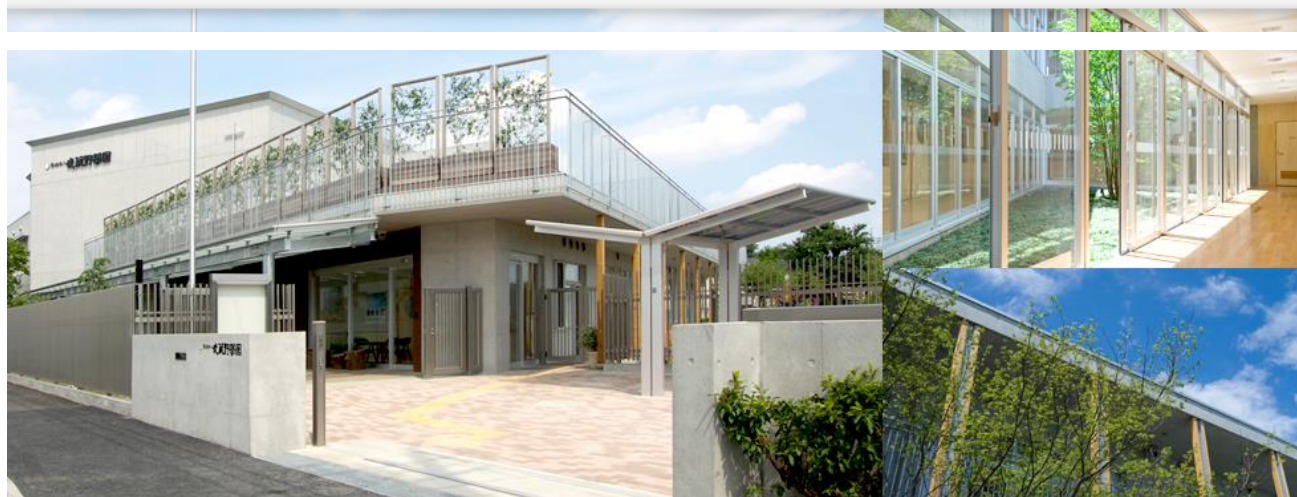
（文責：円谷洋一 39回生）

むさしの学園同窓会ホームページ、たまに訪ねてみてください！



むさしの学園同窓会  
Musashino Gakuen Elementary School Alumni Association

〒183-0002 東京都府中市多磨町1-19-1 武蔵野学園内  
Tel:042-361-9655 Fax:042-361-7288



URL は、<http://musashino-gakuen.com/dousou/> ですが、「むさしの学園」のホームページからも入れます。学園 HP トップページ左下の「同窓会」のボタンをクリックしてください。

現段階では簡単なコンテンツしか掲載できていませんし、年に数回の更新しかできません。マンパワー的にも予算的にも不足しており、掲示板やメール機能もまだ装備できておりませんが、まずは HP を通じ、みなさんが関心を持たれた時に情報が届くことを一義に考えました。少しずつ、充実させていきたいと思えます。是非、HP に載せる情報をお寄せください。

情報連絡先： 下記のいずれかをお願いいたします。

〒183-0002 東京都府中市多磨町1-19-1

武蔵野学園内 むさしの学園同窓会 FAX 042-361-7288

\*同窓会には専従の事務員がおりません。ご連絡は、郵送かFAX でお願いたします。

〒184-0004 東京都小金井市本町6-13-16

武蔵野写真フォトダック 鴨下 洋 (38回生)

Tel 042-381-3543 Fax 042-386-0010

E-mail: [duck@blue.ocn.ne.jp](mailto:duck@blue.ocn.ne.jp)

### 学園からのメッセージ

- ◆ 学園はいつでも同窓生の来訪を歓迎しております。  
2階の集会室、卒業生専用室と保護者と共用の部屋があります。ご利用下さい。  
また、子ども達がいる時間でしたら一緒に遊んでください。  
(上履きをご持参ください。)